

大垣ビジネスサポートセンター

来月開設控え記念講演

大垣ビジネスサポートセンターが6月21日に開設されるのを記念した講演会が19日、大垣市小野の市情報工房で開かれ、生活雑貨店



赤字経営から回復した無印良品の戦略を語る松井忠三さん＝大垣市小野、市情報工房

「無印良品」を展開する良品計画名誉顧問の松井忠三さんが「38億円の赤字経営から回復した無印良品の戦略」と題して講演した。

センターは、大垣商工会議所や大垣共立銀行、大垣西濃信用金庫、OKB総研が共同して開設。小規模事業者の販路拡大や売り上げ増加の取り組みを支援する。講演会は、センターを周知しようと商工会議所などが企画し、

地元の経営者ら約160人が参加した。

良品計画は、右肩上がりに成長していたが、2000年に入り赤字に転落。当時、社長に就任した松井さんは再び業績を回復させた。講演会ではその経緯を振り返り、「企業体質の改革に乗り出し、勝つ構造に転換していった。社風を変えなければいけないと感じ、あいさつや定時退勤など決まったことを上司から率先してやり続けた」と語った。

ビジネスサポートセンターの先行事例として、岡崎ビジネスサポートセンター長の秋元祥治さんも講演し、「企業の問題点や課題を指摘するのではなく、話をじっくり聞いて長所を伸ばすことが大切」とアドバイスした。

(根尾文悟)